

## チュートリアル課題 糖は何処へ?

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032674">https://doi.org/10.20780/00032674</a>

2016年度 Segment. 2

課 題 No.2

課題名：糖は何処へ？

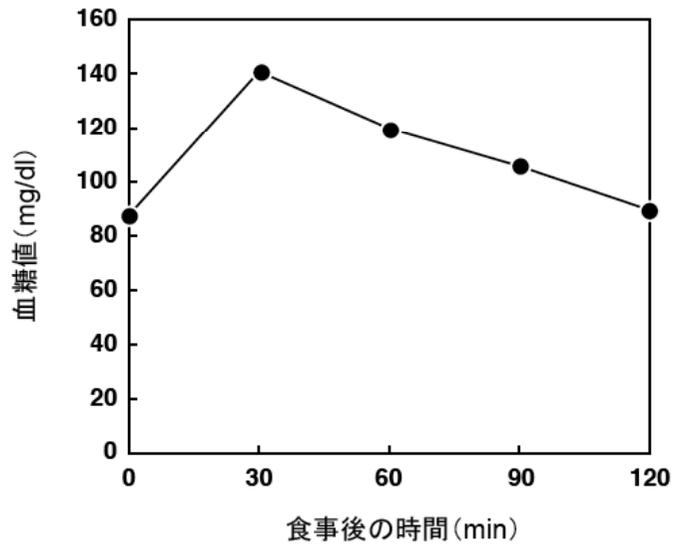
課題作成者：生化学  
生物学

新敷 信人  
松下 晋



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

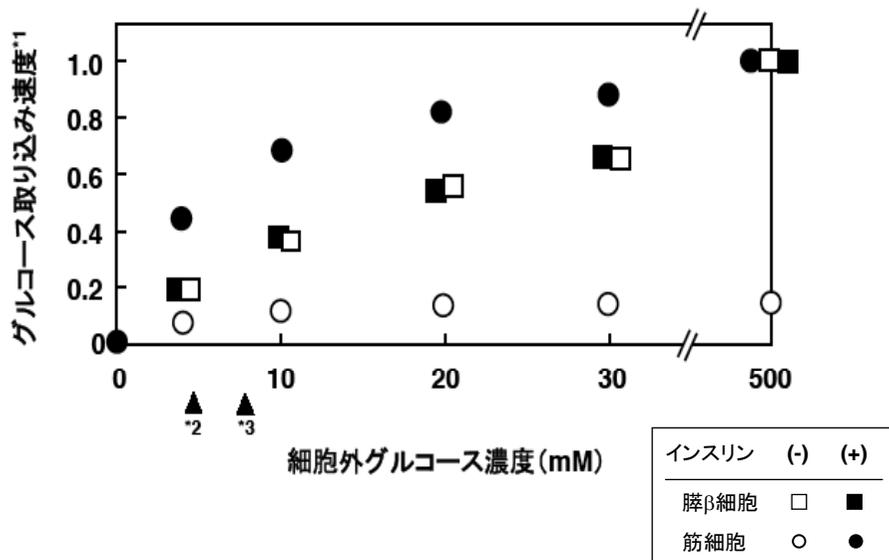
シート 1



食事をしたおかげでせっかく高くなった血糖値をすぐに下げてしまうのは、もったいないことのような気がします。

## シート 2

インスリン存在下、非存在下における膵β細胞ならびに筋細胞のグルコース取り込み速度。



\*1;各細胞における最大取り込み速度を1として、相対値で表してある。

\*2;空腹時の血糖値(約5mM)と同じ濃度

\*3;食後30分の血糖値(8~9mM)と同じ濃度

## シート 3

通常マウス (○)、ならびに筋肉・脂肪細胞にある異常をもったマウス (●) における、(A) 食後血中グルコース濃度、および (B) インスリン投与後血中グルコース濃度の時間推移。

